## Theorem 1: The Onto and One-to-One Theorem

Let A be the  $m \times p$  standard matrix for the linear transformation  $T : \mathbb{R}^p \to \mathbb{R}^m$ . Then the following statements are equivalent:

1. T is both one-to-one and onto,

2.  $T(\vec{x}) = \vec{b}$  has exactly one solution  $\vec{x} \in \mathbb{R}^p$  for every  $\vec{b} \in \mathbb{R}^m$ ,

3.  $A\vec{x} = \vec{b}$  has exactly one solution  $\vec{x} \in \mathbb{R}^p$  for every  $\vec{b} \in \mathbb{R}^m$ , and

・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・

4. REF(A) has a pivot in every row and every column.

## **Theorem 2: The Invertible Matrix Theorem**

Let A be the  $n \times n$  standard matrix for the linear transformation  $T : \mathbb{R}^n \to \mathbb{R}^n$ . Then the following statements are equivalent:

- 1. *A* is invertible, Caution: *A* **must** be a **square** matrix.
- 2.  $\operatorname{RREF}(A) = I_n$ ,
- 3. REF(A) has a pivot in every row and every column,
- 4. REF(A) has *n* pivots,
- 5.  $A\vec{x} = \vec{0}$  has exactly one solution  $\vec{x} = \vec{0}$ ,
- 6.  $A\vec{x} = \vec{b}$  has exactly one solution  $\vec{x} = A^{-1}\vec{b}$  for every  $\vec{b} \in \mathbb{R}^n$ ,
- 7. The columns (and rows) of A are linearly independent,
- 8. The columns (and rows) of A span  $\mathbb{R}^n$ ,
- 9. T is one-to-one,
- 10. T is onto, and
- 11.  $T(\vec{x}) = \vec{b}$  has exactly one solution  $\vec{x} \in \mathbb{R}^p$  for every  $\vec{b} \in \mathbb{R}^m$ .